

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援TEKUNOBI那珂川		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 23日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 23日		～ 令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 評価、分析		訪問支援員同士で月に1回会議を開き、情報を共有したうえで症例検討を実施しています。また、評価ツールを活用し情報の整理にも努めています。	会議の議題や内容をより良いものになるよう検討しながら実施していきます。
2 介入方法		直接介入と間接介入を必要に応じて使い分けをすることが出来るように目的を明確にし根拠をもって取り組んでいます。	介入方法の根拠となる内容を明確化できるよう評価ツールを充実していきます。
3 連絡帳での報告		施設での利用者の様子や課題等が保護者様に伝わるように文章を作成しています。また保護者様からの質問に対して即座にスタッフ間で検討し回答することができるよう努めています。	報告する内容を項目別に分解してより伝わりやすいよう努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 他事業所との情報共有		併用している事業所との連携が不十分であると考えます。	適時、訪問支援で得られた情報や課題を共有し他事業所でも意識して介入することが出来るよう努めています。
2			
3			